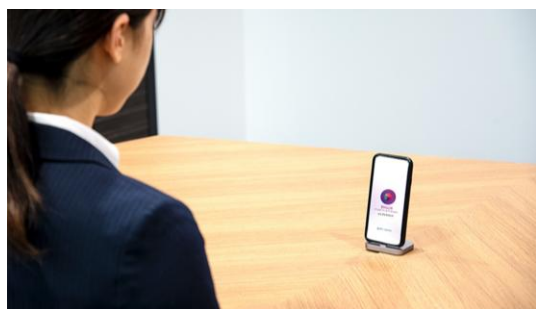


日本管財ホールディングスおよび日本管財が 昇格試験にAI面接を導入

～小論文試験をAI面接に代替 社員の成長機会提供と業務効率化を両立～

オフィスビルや商業施設等の建物管理運営事業や住宅管理運営事業、不動産ファンドマネジメント事業等を手掛ける日本管財ホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：福田 慎太郎、以下「当社」）は、2026年4月1日より、当社および日本管財株式会社の昇格試験にAI面接を導入いたしました。

本取り組みは、2026年4月1日より、当社および日本管財株式会社において開始しております。



面接のようす



対話型AI面接サービス「SHaiN」

導入の背景

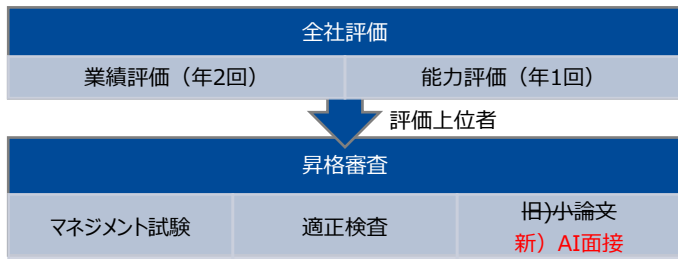
当社では、昇格審査の一部として、これまで小論文試験を実施してきました。

しかし現状の試験方法では、文章力や文章表現に対する評価が中心となり、受検者一人ひとりの資質や思考の違いを十分に把握することが難しいことや、近年はさまざまな情報の流通により小論文の内容が類似するという課題がありました。

AI面接の位置づけ

今回導入したAI面接は、AI面接サービスを用い、当社が求める課題認識力や理解力などを測定するものです。弊社では小論文試験の代替として活用し、それ以外の試験方法は従来と変わらず実施しています。

昇格試験の流れ



導入内容の概要

使用サービス	対話型AI面接サービス「SHaiN」 （株式会社タレントアンドアセスメント）
導入時期	・2025年9月：一部社員を対象に試験導入 ・2026年4月：本導入
対象	係長級から課長級への昇格試験
特徴	回答を多面的に分析し、受検者の資質を可視化

導入効果と今後の活用（人事部担当者コメント）

試験導入した際の結果から、受検者一人ひとりの資質や特性が分かりやすく示されていると実感しています。

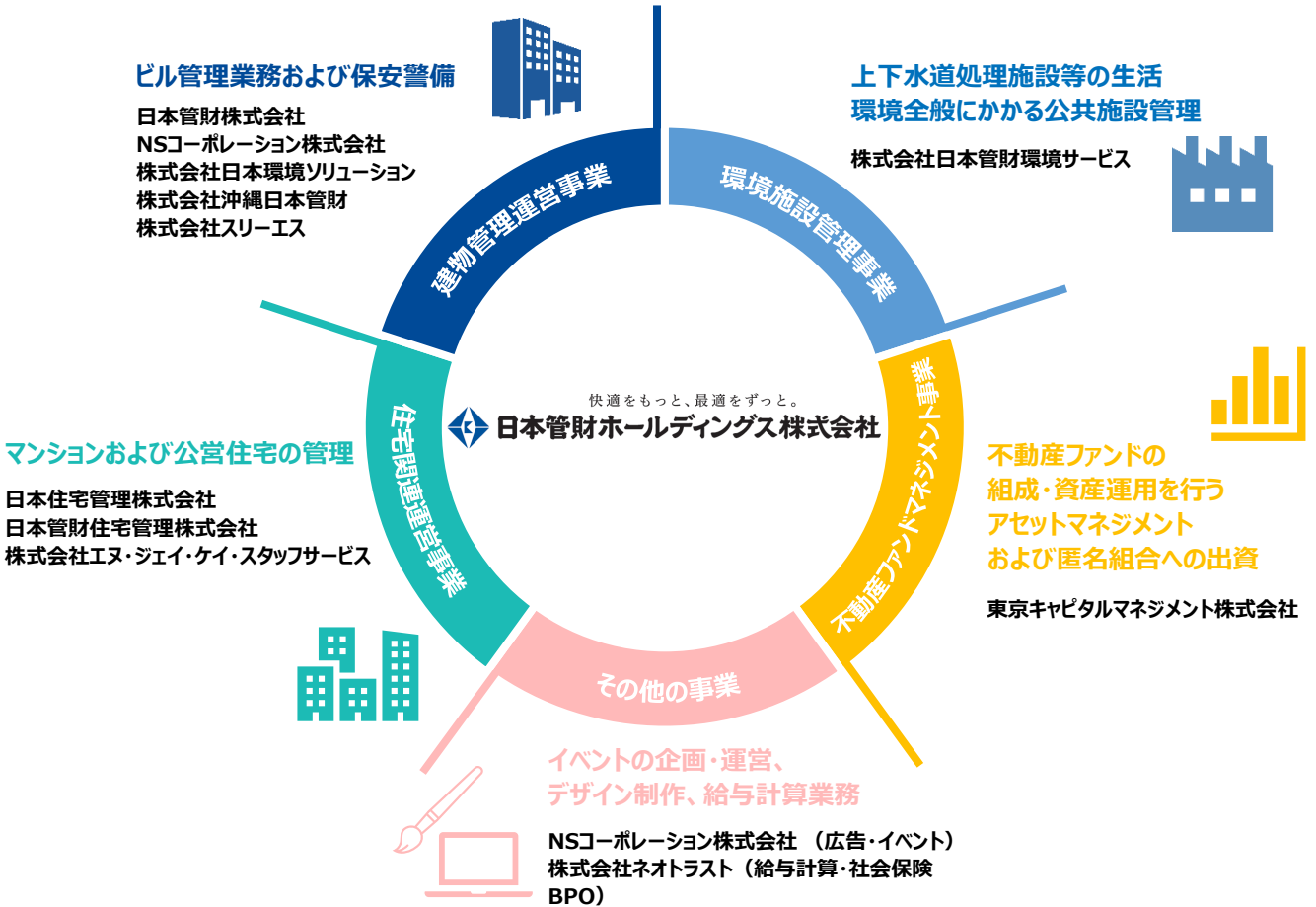
出力されるレポートでは、各評価項目が評点やランク、出現率として可視化されました。また、試験実施から結果確認までの時間が短縮できたこともメリットの一つです。本格導入後は、試験結果の蓄積を通じ、評価基準のさらなる明確化を図ってまいります。また、試験後に受検者にフィードバックするレポートを通じ、受検者には、自身の強みや課題を振り返る機会として活用いただきたいと考えています。

日本管財ホールディングス株式会社

日本管財グループについて

日本管財グループは1965年に設立し、現在は国内及び海外で建物管理運営事業、環境施設管理事業、住宅関連運営事業、不動産ファンドマネジメント事業等を展開しています。独立系であることを強みに、オフィスビル、商業施設、ホテル、教育機関、公共施設など、幅広い用途に携わっています。

日本管財ホールディングス株式会社は持株会社として2023年に設立し、グループ経営機能に特化しています。



会社概要

社名：日本管財ホールディングス株式会社
所在地：東京都中央区日本橋2丁目1番10号
設立：2023年4月3日
代表者：代表取締役社長 福田 慎太郎
資本金：3,000百万円
事業内容：オフィスビル、集合住宅、環境施設等の管理運営事業や不動産ファンドマネジメント事業等を営むグループ会社の経営管理及びこれに附帯又は関連する業務
URL：<https://www.nkanzaihd.co.jp/>